

山形県歯科技工士会会報

H28・6

《第5回定時社員総会開催》

山形県歯科技工士会の定時社員総会が、平成28年5月15日(日)にアズ七日町内の山形市中央公民館を会場に行われた。

斉藤会長の挨拶の後議長選出があり、庄内地区の後藤和雄氏を議長に議事が始められた。出席者16名、委任状56名、計72名で総会は成立する事となった。

平成27年度の事業報告、会計報告、監査報告があり、質疑応答の後承認された。続いて28年度の事業計画案、予算案が提案され、承認された。今年には役員任期満了による改選があり、役員立候補を募ったが、立候補が無かったという事で、現役員再選という事となった。会長には現会長の斉藤博夫氏が再任され、新しい理事として太田春彦氏が加わる事となった。

定時総会の後、連盟の総会が行われ、27年度事業報告、会計報告、監査報告、28年度事業案、予算案がそれぞれ承認を受けた。

総会終了後に平成28年社会保険歯科診療報酬改定についての説明会が行われた。主な内容としては、ファイバーポストを用いた支台築造の保健導入、硬質レジンジャケット冠・CAD/CAM冠の条件付きでの



大白歯への適応拡大、レジン前装金属冠のブリッジの支台歯となる第一小臼歯への適応拡大、下顎総義歯のリベースに軟質素材を用いる場合の追加、その他、金銀パラジウム合金を用いた屈曲バー・ジャケット冠の保険適用廃止などについて説明を受けた。

夕方からは、美酒佳食「はしもと」で懇親会が行われ、10名の参加者ながら賑やかな楽しい宴となった。



『顎口腔機能学研修会』

尾形 清敏(中央)

平成28年3月20日(日)午後1時より山形県歯科医師会館4階大会議室にて歯科技工士会生涯研修会が開催された。

今回は日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学非常勤講師の小出勝義先生と日本歯科技工士会常務理事である森野隆先生をお招きし、顎口腔機能学についてご講演していただいた。

これは平成4年の歯科技工士養成所指定規則が改定されたことにより、

「顎口腔機能学」が新しい学科として歯科技工士教育にとり入れられ、概ね40歳以上の方がこの教育を受けていないことにより、日技指定研修として実施に至った。

はじめに小出勝義先生により、「顎口腔機能学」をわかりやすく！

～これからの歯科技工に求められること～をテーマにご講演いただいた。

まず日本国民の平均寿命が伸びているのに対し健康寿命が短くなっていることを挙げられた。そしてアルツハイマー型認知症の患者数が年々増えているが、歯牙欠損による咬合異常があり、義歯を入れていない患者はアルツハイマー型認知症になるリスクが義歯を装着している患者よりも倍になっているデータを提示していただいた。これはマウス実験や、MRIの検査などから脳に対する咬合の重要性を表したものであった。

また死亡率第3位にある肺炎も嚥下機能の低下から招かれており、咬合の改善により転倒のリスクが減り、背筋力が増強できることなど顎口腔機能改善により、全身疾患の治療につながることで、人の健康維持を目的と

きることをお話ししていただいた。

そして顎関節の構造と筋肉についてわかりやすく説明してくださり、咬合の早期接触、咬合干渉により顎関節症になるメカニズムを解説された。

その後、咬合器についてアルコン型、コンダイラー型の利点を備えたツインプレート型の咬合器を使い、フェイスボウの有効性について教えていただいた。チェックバイトの取り方からフェイスボウトランスファーまで細かくご説明され、講演後の休憩時間には実際にプロアーチの咬合器を展示し、セッティングのデモンストレーションも行っていただいた。

休憩後、森野隆先生により「咬合器設定の違いによる臨床例」をテーマにご講演いただいた。

咬合器の目的から必要な機能を備えた咬合器を選ぶことが大事であり、同一患者による平均値の咬合器でマウントした模型とフェイスボウでマウントした模型を比較し、咬合干渉が起きるエラーや口腔内との差異をわかりやすく教えていただいた。

また、顎顔面の筋肉の説明と口腔内から全身疾患に影響することを踏まえて全身の筋肉についても触れてご説明いただいた。

森野先生は歯科医師にフェイスボウを提案できるようにマニュアル化していたり、歯科技工士の立場から顎口腔機能学を教えていただいた。

今回、顎口腔機能学について基本的なところから応用まで二人の講師にわかりやすくご説明していただき、明日からの臨床に役立つ、大変有意義な講演会であった。



『テラリウムとペーパーフラワー作り』

遠藤 麻衣(庄内地区)

酒田地区女性部の集いが3月6日、勤労者福祉センターで行われました。今回はテラリウムとペーパーフラワー作りでした。

ジャムが入るようなガラスの小瓶の中に、メインマスコットと造花などを配置していきます。割りばしなどを使って植物を配置し、思い思いの世界を作っていました。始めはおしゃべりしながら作っていたのですが、いつしか夢中になり無言になり。しかし、思いがけず変な声を出して身を固くしているところを見ると、マスコットが倒れたとかボンドが瓶にくっついたとか、ハプニングが起きていました。ペーパーフラワーは紙ナプキンを使って作りました。紙の折り方やカットの仕方で随分と印象が違う花ができました。小さいころ花紙で花を作ったものですが、あの時と違い指が滑るし紙も小さい。花びらを開くのは苦戦しました。最後にこの花を蓋に飾り付けて完成。みなさんのこだわりの作品が揃いました。他の人の作品を見てからこうすれば良かったかしら？など、自分の世界に更にこだわり



たくなりました。材料も100円ショップで揃うものばかりなので、今度は自分で揃えてまた挑戦したいと思いました。

仕事と子育てに追われてあっという間に過ぎる毎日、久しぶりに自分の時間を持って、よく笑ってあっという間の楽しい時間でした。忙しい中、講師になり準備してくれた技工士の長沢さんに感謝です。



山形県歯科技工士会女性フォーラム

「女性のための B 型肝炎と HIV 感染症の基礎知識」を開催

山形県歯科技工士会副会長
同女性部 花等きよ子



今年2月初旬に全会員に郵送させていただきました「押しかけレクチャー『女性のための B 型肝炎と HIV 感染症の基礎知識』のご案内」という書面をご記憶でしょうか？その後、この催しは「山形県歯科技工士会女性フォーラム」というメインタイトルを付けて日技生涯研修を取得

し、去る4月24日（日）に山形県生涯学習センター「遊学館」において開催しました。

この講師は、4年前に「感染症予防歯科技工士講習会」に大阪からお出でになられた日技認定講師の大西正和先生であり、先生が「押しかけレクチャー」というボランティア活動を始められたことは把握していましたが、4月に福島県に来られることが判り、当地まで足を延ばしていただくことでこの催しが実現しました。

この催しは、当県技の女性の連携を目指して女性を対象に企画しましたが、大西先生には当県技の女性会員の比率の少なさや当県が広いことから、多くの参加が期待できないことをお伝えしました。先生からは「たとえ3名でも構わない。『押しかけレクチャー』はその程度の規模を想定したも

の」という返答をいただき気持ちが楽になりました。

準備段階から男性役員にもご協力をいただきましたが、技工士会会員からの申し込みは10名であり、やはり寂しい思いがいたしました。ところが、事前にご案内をしておりました衛生士会の小野会長が21名もの会員の取り纏めをくださいました。このため、当日の受講者は31名となり、会場は活気のあるものとなりました。

齋藤会長の「これぐらい女性比率の高い催しは初めてで緊張している。」との挨拶があり、講演にあたり大西先生は「それって、私も言おうと思っていた。桜は散ったけど会場はそれ以上に華やか。」と挨拶され、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

大西先生は、スライドの投影にあたり、「もし、お役に立つようなスライドがあれば、スマホ等でご自由に撮影してください。」と言われ、その後、会場からはシャッター音が頻繁に聞かれました。時折、先生は受講者が撮影のタイミングを逃したのを見て、「すみません。シャッターを切られる直前にスライドを送ってしまいました」とスライドを戻してくださるなどの配慮により和気藹々とした講演となりました。

先生の講演により、女性が仕事と結婚、育児などを両立させるためには、B型肝炎ワクチン接種を始めとする感染症に対する備えが不可欠であることや、医療従事者である歯科技工士は感染症に対する正しい知識を身につけ、技工作業環境も整えていかなければならないことを知りました。また、この講演は、歯科衛生士の皆様にも好評であり、この機会に共に学ぶことができましたことで、今後の歯科衛生士会との良



い連携が築けることでしょう。

末文ですが、このような機会を与えてくださいました大西先生、多大のご支援をいただきました歯科衛生士会の皆様、準備段階から当日までいろいろなお協力をいただきました技工士会の男性役員の皆様に感謝申し上げます。

なお、この催しの開催案内を掲載くださいました「女性歯科技工士応援サイト『歯科技工 女子部』」という Web サイトがあります。事後のお礼の言葉と開催の報告をお送りしましたところこれも掲載くださっています。元システムエンジニアの女性歯科技工士が立ち上げた営利が目的ではないサイトであり、「歯科技工 女子部」で検索することができます。本会女性部と女性の連携という同じ目的で運営されていますのでよかったですら会員登録をされてはいかがでしょうかでしょう。

「女性のための B 型肝炎と HIV 感染症の基礎知識」に参加して

山形県歯科衛生士会
関根 智子

平成 28 年 4 月 24 日（日）午前 10 時より遊学館において、山形県歯科技工士会女性フォーラムが開催された。日技認定講師・歯科の HIV 診療体制整備班の大西正和先生を講師に迎え「女性のための B 型肝炎と HIV 感染症の基礎知識」と題して基調講演が行われた。私たち歯科衛生士会もご案内を頂き拝聴させて頂いた。感染症対策は日々の診療で欠かせないものだ。しかし、感染に対しての知識があるか？という決して十分なものではない。今回 B 型・C 型・HIV 感染症について分かりやすく、具体的な感染対策を教えて頂き非常に有意義な講習会となった。B 型肝炎は乾燥した環境表面で、一週間以上生存する場合もあり、衛生士が感染経路にならないようスタッフにもこの講習会内容を伝達した。そのほか、B 型ワクチン接種の概要についても説明して頂いた。

最後に、このような会を開催して頂きありがとうございました。

女性歯科技工士応援サイト

歯科技工 女子部

<http://www.gikou-kyoshi.net>

女性歯科技工士にとって役立つ情報の提供や、
情報交換などの交流ができる場をつくるサイトです。

歯科技工士としてこれからも輝きたいと思う女性の皆さんを応援します。

「歯科技工 女子部」に入部しませんか？
会員サービスは無料で提供いたします。
ぜひお気軽に会員登録をお願いします。

スマートフォン
パソコンから検索

サイトを応援して下さる個人・法人サポーターを募集しています。
編集スタッフも募集中！一緒にサイトを作りましょう！

詳細はサイト内のお問い合わせフォームから

歯科技工 女子部

サイト管理人 歯科技工士・南部 恵理子



『歯科技工士会女性部研修会』

海藤 晴美(中央)

去る4月24日、山形市緑町「遊学館」において、山形県歯科技工士会女性部会主催の生涯研修・自由研修課程『押しかけレクチャー「女性のためのB型肝炎とHIV感染症の基礎知識」』の講習会が開催されました。



講師は、日技認定講師であり、大阪大学非常勤講師でもある大西和正先生でした。参加者は女性会員だけでなく、男性会員や、歯科衛生士会からも多数参加して下さいました。

感染症の基礎知識や感染症対策という「医療人として知っておかなければならない」テーマに、みな真剣に講演を聴きました。大西先生からは「講演中に寝る人もいなく、大変聞き上手でやりやすい講演会でした。」と好評を頂きました。講演の一部と二部の合間にティータイムがあり、先生と参加者はお茶とお菓子で休憩。その後は和やかな雰囲気ですべて終了しました。大西先生は「女性ならではの気遣いでした。」と、ティータイムがリラックス出来てとても良かったとおっしゃっていました。

感染は目に見えないものだけにとても怖いものです。歯科はほとんどが外来患者であり、血液や唾液に接触する機会が多く、組織的な対策が困難だとのこと。だからなおさら「感染症に対する知識」「消毒や殺菌に対する知識」「予防に対する正しい知識」を持つことが大切だと感じました。

「押しかけレクチャー」とは、大西先生のボランティア活動の小規模セミナーとのことでした。大阪からわざわざ東北は山形まで足をお運び下さりありがとうございました。今回参加することが出来なかった会員の皆様、またこのような機会があれば、自分の身を守るために是非参加してみてください。

(=^・^=) **誕生おめでとう!** (=^・^=)

伊藤 匠君(村山)に
第二子が誕生しました
おめでとうございます

長男 伊藤 凜君(右)
2013年4月10日生

次男 伊藤 滯君(左)
2016年1月22日生



◆訃報

黒坂 大輔氏(村山) 12月死去 享年 35歳

謹んでご冥福をお祈りいたします